

列車前方監視カメラでの撮影データの取得・分析について

2026 年 7 月 17 日
東京地下鉄株式会社

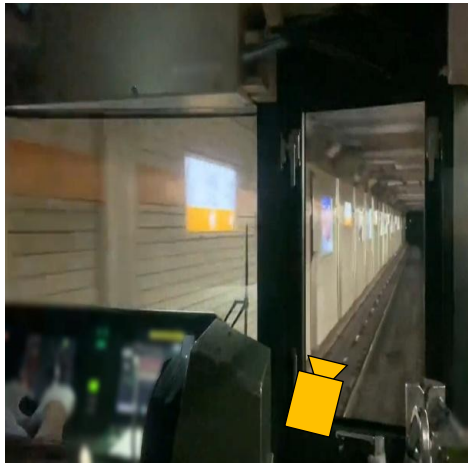
東京地下鉄株式会社(以下「東京メトロ」、本社:東京都台東区、社長:小坂彰洋)では、列車前方監視カメラ(列車前方の障害物を検知するカメラ)について、昨年度に引き続き今年度も各社と研究を推進しております。本研究は列車運行における安全性向上を図るためのものであり、一部列車の乗務員室にカメラを設置し、撮影データの取得・分析を行います。

【実施期間】 2026 年 8 月頃～2026年 10 月頃までで随時※1

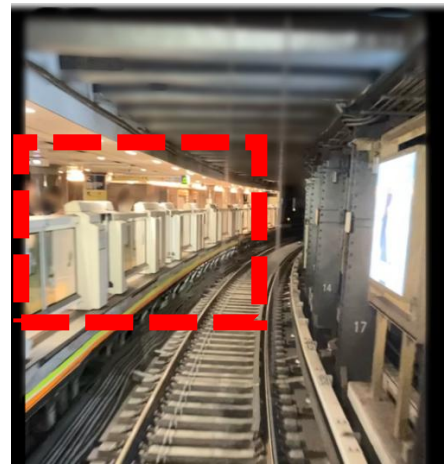
【実施区間】 銀座線浅草駅～渋谷駅

【提携先】 三菱電機株式会社 (以下「三菱電機」、本社:東京都千代田区、執行役社長:漆間啓)

【カメラ設置位置案及び撮影範囲イメージ】



カメラ設置イメージ



撮影範囲イメージ※2

※1:期間内で合計 3 日程度の撮影を予定しています。

※2:ホーム区間撮影時は、撮影範囲イメージ赤枠内のように、お客様が映込む可能性がございます。

※3:取得した撮影データは個人情報に該当するため、以下の取扱いといたします。

- ・撮影データの取扱いは東京メトロ個人情報保護方針によります。
- ・本研究の目的(画像データ AI 学習等)以外の用途では使用いたしません。
- ・撮影データはすべて暗号化され保存されます。
- ・通信等の際のデータはすべて暗号化されます。
- ・セキュリティで保護された装置間のみのデータ通信を行う仕組みとしています。
- ・東京メトロから三菱電機に撮影データを開示いたします。

<参考:東京メトロ個人情報保護方針>

(<https://www.tokyometro.jp/privacy/index.html>)